

事業計画書

団体名	※ 団体名を法人格から記載して下さい				
団体設立年月	年	月	法人化年月	年 月	
事業名	主題	※ 事業名を記載して下さい			
	副題	法人化をしている場合には、団体の設立と年月と、法人化の年月をわけて記載してください。 該当に〇印			
事業領域	基幹的な事業		付随して行われる事業		
	1)相談支援の事業	<input type="checkbox"/>	a) 自立支援にかかる事業	<input type="checkbox"/>	
	2)シェルターの提供等の住居支援事業	<input type="checkbox"/>	b) 居場所の構築事業	<input type="checkbox"/>	
	3)総合相談型窓口の設置事業	<input type="checkbox"/>	c) 物資支援等の事業	<input type="checkbox"/>	
	4)その他の若年女性への支援事業	<input type="checkbox"/>	d) 同行支援・伴走支援等の事業	<input type="checkbox"/>	
			e) その他の支援において必要な事業	<input type="checkbox"/>	
事業期間	2023年8月1日 ~ 202 年 月 日 ※ 最大で2026年2月28日まで				
総事業費	円	不動産系支出		円	
		その他事業系支出		円	
団体の年間総支出額	円	※ 直近（2021年度 or 2022年度）の実績をご記入ください。			
3領域の区分と優先すべき社会の諸課題	【休眠事業】	1) 子ども及び若者の支援に係る活動			
		<input type="checkbox"/>	① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援		
		<input type="checkbox"/>	② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援		
		<input type="checkbox"/>	③ 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援		
		2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動			
		<input type="checkbox"/>	④ 働くことが困難な人への支援		
		<input type="checkbox"/>	⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援		
		<input type="checkbox"/>	⑥ 女性の経済的自立への支援		
		3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動			
		<input type="checkbox"/>	⑦ 地域の働く場づくりの支援		
<input type="checkbox"/>	⑧ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援				
※ 休眠預金制度が指定する社会の諸課題の分類になります。申請事業が該当する領域の黄色箇所〇印を入れてください。ご参考までに、本助成事業においては、②④⑤⑥⑧が該当する可能性が高いものの、申請団体側でご判断下さい。					
コンソーシアム型の申請	する	<input type="checkbox"/>	しない	<input type="checkbox"/>	
不動産関係の支出（取得・改修・修繕）	あり	<input type="checkbox"/>	なし	<input type="checkbox"/>	

該当に〇印

1. 申請事業の概略（800 字程度）

※ 申請する事業全体を要約する形で、800 字程度で概略を記述してください。

2. 団体の活動目的等（200 字程度）

※ 団体の定款に記載のある目的等を転記

3. 団体の主要な活動（3 事業以上ある場合は、主要な 3 事業）

事業①	(事業の名称)
(いつ、どこで、誰に、どんな事業を、どれくらいの頻度で、何人くらいに提供をしているのか) 例) 主に〇〇県内を対象に、年代の区分なく女性を対象にした相談事業を週 3 回（火・木・土）・9 時～17 時、週 1 回水曜日は 17 時～21 時までの電話相談を実施。平行して Line も受け付けるが基本は 1 次的な連絡のみで Line のみでの相談は対応はしていない。	
事業②	
事業③	

4. 若年女性支援の実績（2つ以上ある場合は、主要な2事業について記述をしてください）

実績 ①	形態	<input type="checkbox"/> 相談事業・ <input type="checkbox"/> 住居支援・ <input type="checkbox"/> 自立支援・ <input type="checkbox"/> 居場所の構築・ <input type="checkbox"/> 物資支援・ <input type="checkbox"/> 同行/伴走支援・ <input type="checkbox"/> その他領域				
	当該事業の 開始年	年	直近12か月の利 用者数（延べ）	人	直近12か月の利 用者数（実数）	人
	財源	<input type="checkbox"/> 委託費・ <input type="checkbox"/> 助成金・ <input type="checkbox"/> 寄付金・ <input type="checkbox"/> その他財源				
	対象者	年代		背景		
	支援内容 の概略					
実績 ②	形態	<input type="checkbox"/> 相談事業・ <input type="checkbox"/> 住居支援・ <input type="checkbox"/> 自立支援・ <input type="checkbox"/> 居場所の構築・ <input type="checkbox"/> 物資支援・ <input type="checkbox"/> 同行/伴走支援・ <input type="checkbox"/> その他領域				
	当該事業の 開始年	年	直近12か月の利 用者数（延べ）	人	直近12か月の利 用者数（実数）	人
	財源	<input type="checkbox"/> 委託費・ <input type="checkbox"/> 助成金・ <input type="checkbox"/> 寄付金・ <input type="checkbox"/> その他財源				
	対象者	年代		背景		
	支援内容 の概略					

5. 行政支援の有無：2023年4月1日～2024年3月31日まで

行政支援の有無	<input type="checkbox"/> なし・ <input type="checkbox"/> あり ↓※ありの場合は以下へ			
支援元	支援事業名称	期間	種類	金額/状況
〇〇県 〇〇市	令和〇年〇〇対策〇〇 支援事業補助金	2022年4月1日～ 2024年3月31日	<input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	*,000,000円 確定
〇〇県	令和〇年〇〇対策〇〇 支援事業補助金	2023年8月1日～ 2024年3月31日	<input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	*,000,000円 応募予定

※若年女性（15～35才）を対象とした事業のみ記載してください

6. 申請団体が女性支援（主に15歳～35歳程度）をはじめた経緯・きっかけ・出来事（300字程度）

※ 申請する事業全体を要約する形で、300字程度で概略を記述してください。

7. 本事業が対象とする15歳～35歳程度の中で、申請団体が対象とする女性が直面している課題

若年女性の定義 (年齢、地域、背景等)	(本事業で対象とするのは、主に〇〇県内の15歳～30歳未満の女性、主に◆◆を失っており、孤立状態にある女性を中心とする)
直面している課題	(1000字程度) 当団体が本事業において対象とする主に〇〇県内の15歳～30歳未満の〇〇を失っている女性は、これまでの経験から、幼少期に親からの度重なる〇〇や〇〇があり、その結果〇〇をするために、〇〇の状態にある女性というのがやや多くみられる背景です。 例えば、あるケースでは……、別のケースでは……。それらを踏まえてその女性が直面している課題は…

8. 申請活動の実施背景・現状

「7」で定義をした若年女性の状況にかかる地域の他の担い手による支援事業の現状分析(概略)	
行政支援 (委託含む)	(500字程度) 当団体が本事業を実施する〇〇県域においては、〇地域に別れているものの、概ね県庁〇〇課の事業により、〇〇や〇〇の取組が行われており、一部民間団体に委託されている。それらは、〇〇に取り組む一方で、〇〇という課題もあります。
民間 / 他団体	(500字程度) 当団体が本事業を実施する〇〇県域においては、若年女性支援にかかる団体は、〇団体程度あり、それぞれ、〇〇の活動や、〇〇の活動を行っています。特に、〇〇という団体と当団体は特に強い連携関係にあり、〇〇の強みを生かして〇〇という活動をする一方、〇〇というケースでは、当団体が〇〇を提供するなどの連携関係があります。
分析	上記に記述した現状において、何が課題ですか？ どのような点について追加的な取り組みが必要でしょうか？ (500字程度) 行政の〇〇という事業においては有効である一方で、〇〇という部分においては限界があり、民間の〇〇という予算を活かして、〇〇という状態や、〇〇という支援が必要な若年女性においては、現状うまく〇〇が〇〇していないという課題がある。従い、今回の申請事業で取り組む、〇〇という活動のさらなる拡充が必要であると考えています。

9. 「7」で定義をした課題に対して申請団体が最も理想と考える対応・対策・支援の形態・規模

(500字程度)

6 においては、幼少期からの〇〇や〇〇がある状態のケースを定義しました。理想的には、〇〇という状況が起こらないような事業、並びに〇〇という状況が起きている現状に対応するもの、また現在の〇〇という事業では〇〇という更なる課題を引き起こさねず、2-3年後の安定的な〇〇まではなかなか必要な支援が実施できないという状況がありました。

従い、〇〇や〇〇の活動については、当団体が〇〇という規模で実施しているものが〇〇という規模までは必要であり、また〇〇という状態になるまでの継続した関わりが〇〇という活動を通じて必要であると考えています。また、地理的にも、〇〇という地域を超えて、〇〇という地域にも最近相談件数が増加しており、本来であれば〇〇地域にも拠点や連携相手が広がることが望ましく、また行政との連携を構築することが強く求められます。またシェルターの利用者から1日〇円程度の自己負担を求める体制となっているものの、〇〇の利用を望まないひともおり、場合によっては利用者の〇〇、或いは〇〇支援を図る〇〇のようなものがあるといひ。

10. 「7」の理想とする状況に対して、本事業を通じて重点的に取り組む事項

1	〇〇地域に、若年女性むけのシェルターを〇室程度の増加する
2	〇〇地域における相談活動（オンライン、アウトリーチ）を図るため、〇〇の拠点や人材育成を〇〇する
3	〇〇地域における行政をはじめとする官民、並びに医療関係者の連携を深めるための〇〇を行う

11. 中長期的な事業目標（中長期アウトカム）

本事業が全て計画通りに実現することを通じて、中長期的に実現したい状況はどのようなものですか？
 ※事業期間終了後、更に2~3年程度＝申請時点から約5年後の時点で達成していきたい状況

(500字程度)

〇〇地域において、行政支援は多くを期待できないため助成金獲得を念頭におきつつ、概ね以下の状態をめざす。

- ・ハウジングファーストの視点から〇〇を必要とする女性に対して〇〇の提供体制が……。
- ・トラウマインフォームドケアの観点から、行政・民間・医療機関の担当者間で、〇〇についての理解が……

12. 事業の成果目標（短期アウトカム）※事業期間終了時点で達成していきたい成果

達成していきたい状況	事業開始前の状態（事前）	事業終了時の状態（事後）
若年女性を対象にしたシェルターの提供を通じて、15歳～25歳程度の女性が〇〇を感じるようになっている。	現状・〇部屋	+〇部屋の増加

13. 事業内容（詳細） ◆事業内容：1領域・概ね800字程度

【事業領域①】 < <input type="checkbox"/> 相談事業・ <input type="checkbox"/> 住居支援・ <input type="checkbox"/> 総合相談窓口・ <input type="checkbox"/> 自立支援・ <input type="checkbox"/> 居場所の構築・ <input type="checkbox"/> 物資支援・ <input type="checkbox"/> 同行/伴走支援・ <input type="checkbox"/> その他領域 >			
地 域		裨益者数（通算）	
実施時期	<input type="checkbox"/> 通期 ※事業期間中	<input type="checkbox"/> 特定時期	→ []
実施回数	1回〇時間程度 x 月〇回 x 計〇か月実施		
(詳細)			
【実施回数】 当該事業領域について、事業期間中にどれくらいの頻度/回数で実施するのかを記載ください		【実施時期】 当該事業領域について、事業期間中、特定時期のみ実施するのか、概ね通年・通期的に実施するのかを記載してください	
【事業領域②】 < <input type="checkbox"/> 相談事業・ <input type="checkbox"/> 住居支援・ <input type="checkbox"/> 総合相談窓口・ <input type="checkbox"/> 自立支援・ <input type="checkbox"/> 居場所の構築・ <input type="checkbox"/> 物資支援・ <input type="checkbox"/> 同行/伴走支援・ <input type="checkbox"/> その他領域 >			
地 域		裨益者数（通算）	
実施時期	<input type="checkbox"/> 通期 ※事業期間中	<input type="checkbox"/> 特定時期	→ []
実施回数			
(詳細)			
【事業領域③】 < <input type="checkbox"/> 相談事業・ <input type="checkbox"/> 住居支援・ <input type="checkbox"/> 総合相談窓口・ <input type="checkbox"/> 自立支援・ <input type="checkbox"/> 居場所の構築・ <input type="checkbox"/> 物資支援・ <input type="checkbox"/> 同行/伴走支援・ <input type="checkbox"/> その他領域 >			
地 域		裨益者数（通算）	
実施時期	<input type="checkbox"/> 通期 ※事業期間中	<input type="checkbox"/> 特定時期	→ []
実施回数			
(詳細)			
【事業領域④】 < <input type="checkbox"/> 相談事業・ <input type="checkbox"/> 住居支援・ <input type="checkbox"/> 総合相談窓口・ <input type="checkbox"/> 自立支援・ <input type="checkbox"/> 居場所の構築・ <input type="checkbox"/> 物資支援・ <input type="checkbox"/> 同行/伴走支援・ <input type="checkbox"/> その他領域 >			
地 域		裨益者数（通算）	
実施時期	<input type="checkbox"/> 通期 ※事業期間中	<input type="checkbox"/> 特定時期	→ []
実施回数			
(詳細)			

14. 本申請事業の実施に際して必要な連携相手とその現状

連携相手	連携相手	現状+もし、本申請において新たに取り組む事項があればその概略	
	行政：〇〇課	現状も定期的な情報交換ができていますが、この事業を通じて〇〇をもう一歩、〇〇という状態になることをめざす。	
	行政：〇〇児童センター		
	民間：NPO 法人〇〇		
	民間：〇〇支援△△		
外部協力者	お名前	役割	所属
	〇〇〇〇〇〇	スタッフの心理面でのスーパーバイズ	〇〇大学〇〇学科・准教授

15. 本申請事業の対象とする若年女性に対する具体的なリーチ手法（広報、参加/利用者の確保）

【不動産関連支出】
「賃貸契約ではなく」不動産を購入、もしくは改修等を行う場合に記載してください。

《No.14 は、【不動産関連支出】を行う場合のみ記述》 ※(様式 10) 不動産関係の概況書を提出のこと

16. 不動産関係の取り組みと本体事業との関連性

区分	<input type="checkbox"/> 不動産の購入 <input type="checkbox"/> 不動産の新築・増築 <input type="checkbox"/> 既存建物等の改修・修繕	※該当に○印
本申請において、不動産関係の取組みを行う理由は？		
〇〇の取得を通じて、従来は〇〇という状態で安定的な〇〇の提供ができなかったが、今回の〇〇の取得を通じて、〇〇の提供を通じて、より〇〇という状態を実現したいため。		
不動産関係の支出を通じて、支援対象となる若年女性がどのような裨益をするのか？		
〇〇の取得があることで、必要とする若年女性の〇〇という相談により効果的に〇〇できる状態となるため、当団体の支援体制としても〇〇となることを目指す。		

17. 申請団体の実施体制

【関与想定時間数（週 H）】 「実施体制に記載のある方が、1週間あたりどれくらい関与をするのか、1週間あたりの時間数をご記入ください。原則的に、個々に記載の週あたりの時間×4週＝月間の関与時間数という想定です。

備考：新規採用を想定している方々を氏名欄に記入のこと			
新規採用に○印	関与想定時間数（週 H）		
	週 10 時間	事業の総括責任者	○○ ○○○
○	週 40 時間	事業の現場責任者	未定
○	週 20 時間	相談担当者	未定
		地域の関係団体との連携調整	
新規に採用（雇用契約）する者の採用見込、団体との関与履歴等		採用見込：() あり・() 未定	現場責任者はこれまでも○○養成研修の修了、週 1 回の○○にかかわる活動に関与するなど団体の活動への関わり、また団体としてもこの人がいいのではと考えていた

18. その他事項

社会的インパクト評価の実施体制および評価の方法等について		採択後に、資金分配団体（事務局）と調整をしながら進める
		具体的な計画がある（以下に記述）
助成元（資金分配団体）との事業の進捗についての共有方法		資金分配団体との月 1 回程度のミーティング等を通じて、進捗を共有する。
		具体的な計画がある（以下に記述）
事業実施のリスク定義とその対応・管理	コロナ感染予防	
	その他全般	
出口戦略や持続可能性に関する想定		寄付金・助成金等の活用を通じて、事業の継続を目指す
		委託事業や行政との連携を通じて、事業の継続を目指す
		その他、具体的な計画がある（以下に記述）